

附属幼稚園 保護者の皆様

10月17日（土）、宮部先生の告別式に参列させていただきました。

長い間、幼児教育の現場で多くの子ども達や私たち保護者と関わってくださった宮部先生。おらかなお人柄の中に、ぶれない厳しさと溢れんばかりの愛情を感じさせてくださったように思います。

幼稚園に設けられた記帳所には、幅広い年代の方々が足を運ばれました。宮部先生とのお別れを惜しまれる様子を見せていただき、最後のお別れの間へ私が行かせていただく事が恐縮ではありましたが、皆様の思いを届けさせていただきました。子ども達を書いた手紙や折り紙は、ご親族の皆様が棺へと大切に納めてくださいました。

宮部先生のみえない幼稚園に慣れるには時間がかかると思いますが、幼稚園には今日も変わらない子ども達の笑顔があります。

宮部先生のご冥福をお祈りし、告別式への参列をご報告させていただきます。

PTA会長 信田 恵子

宮部教諭の永眠に伴い園内に記帳台を用意いたしましたところ、園児の皆さんや保護者の皆様、卒園児の皆さんや保護者の皆様には多数ご記帳をいただきました。また、多くのお花や、お手紙もいただきました。本当にありがとうございました。

お手紙は、祭壇に飾っていただき、出棺の前にはお棺に納めていただけました。芳名帳や記帳所の様子を写した写真も式場に飾っていただけました。

16日（金）の幼稚園周辺でのお見送りも本当にありがとうございました。直前の連絡にもかかわらず、本当に多くの皆様にご参加していただき、感謝しております。通夜の際の喪主挨拶で、ご長男様は「母は式場に向かう前、最後の出勤をしました。多くの方にお見送りいただき、多くの方々に愛されていたと感じました。本当にありがとうございました。」（要約）とお礼を言われました。

記帳台は、閉じさせていただきましたが、皆様がお供えくださいましたお花やお写真は、今しばらく園内の遊戯室前に飾らせていただきます。

皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

また、職員一同、宮部教諭の教えを胸に、子ども達の笑顔のために尽力いたしますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

園長 宮川 誠

「届託のない笑顔は家族の胸にいまも」  
紙やかまもたてて笑うように眠る母の横顔を眺めながら、  
家族一同まだ別れの実感がわかずにとどろく。  
風邪をこじらせた小児科の診察室で、何ともない様子で  
あつしさんじの元気な姿を見ることができてうれしくて  
このように覚悟の日が訪れ、本人も涙を流して泣いておりました。  
母、宮部 陽子 は、家族の胸にあたりながら静かに眠りました。  
令和二年十月十四日 満七十三歳にてご逝去されました。  
その生涯は、幼少・後進の教育に尽力した日々でした。  
高校卒業後、幼児教育の道に進んだ母は、およそ五十年にわたり  
その道筋で歩みまいりました。小さな子供達の成長のお手伝いが  
できるのが何よりも喜びであり、たまには泣きながら泣きながら  
印象に残っています。

「生涯の仕事は天職を見つけ、また家族を幸せに導いてくれた  
大きな存在だっただけに、いづらいたたきを埋めることは難しいよう。  
しかるも心穏やかに静かに眠る母に、家族は手をとりあいつつ  
思ひます。これこそを父と母に伝えたい。またご冥途へ、たいご冥途へ  
申し上げます。本日のご冥途には、たいご冥途へ、たいご冥途へ  
明けぬるお花をもちまして、挨拶申し上げます。  
ご冥途式 令和二年十月十六日  
謹言 令和二年十月十七日

喪主 親戚一同  
城島県城島市彦坂五〇番地二  
メモリアル・倶楽部



